

## 〈三郷学の視点②〉

### 三郷学の視点

#### 2. 変化をみる

##### ①時系列でとらえる

三郷市のまちの構造(都市構造)の変化をみることで、これまで三郷市がどんなまちづくりを進めてきたのか、これからどのようなまちづくりの方向をめざしているのかがわかります。

三郷市は、江戸川、中川という大河川に挟まれ、両河川の自然堤防沿いに村落が形成されました。そのため、市街化区域が市の周辺部にあるという、他の都市とは異なる特徴を持っています。

中央へのアクセスイメージ



平成17年8月に「つくばエクスプレス」が開業するまで、三郷市内の各地域は他の都市と比べると分散していました。開業に向け、市の中央に位置する三郷中央駅周辺にアクセスする主要な道路が都市計画決定され、整備が進みました。また、バス事業者との調整により、路線バス網の再編成を行い、市民の交通利便性の確保に努めてきました。

これまでのまちづくりの歩みを振り返ることが、三郷の将来を考えることにつながります。